



第2章 足立区の地勢・概況

1 地勢・地勢

本区は、東京23区の最北端に位置し、令和5年11月末日現在の区の総面積は53.25km²で東京23区の約9%にあたり、大田区、世田谷区に次いで第3位の広さです。

東は、中川を挟んで葛飾区、西は隅田川を挟んで北区、荒川区、北は埼玉県川口市、草加市、八潮市、南は葛飾区、墨田区、荒川区に接しています。

区内は全体的に平坦で、人工的に築かれた荒川の堤防や公園内の丘以外に高地はほとんどなく、自転車利用に適した地形であるといえます。



(出典：足立区 HP を基に作成)

図 2.1 位置図



2 人口及び世帯数

区の総人口は概ね横ばいの状況が続いていますが、世帯数は増加傾向にあります。また、年少人口は減少傾向にあり、令和4年度の高齢化率は25.8%と23区中最も高くなるなど、少子高齢化が進んでいます。これらのことから、将来的には自転車利用者の減少も想定されます。

人口は令和2(2020)年に691,298人まで増加したものの、令和5(2023)年1月現在では690,114人と減少しています。一方、世帯数は平成29(2017)年の334,551世帯から、令和5(2023)年にはおよそ1割増加し365,583世帯となっています。

また、令和2(2020)年に区が実施した人口推計によれば、中位推計では令和12(2023年に総人口のピークが見込まれます。令和4(2022)年1月現在では中位推計を約9,000人下回っている状況です。

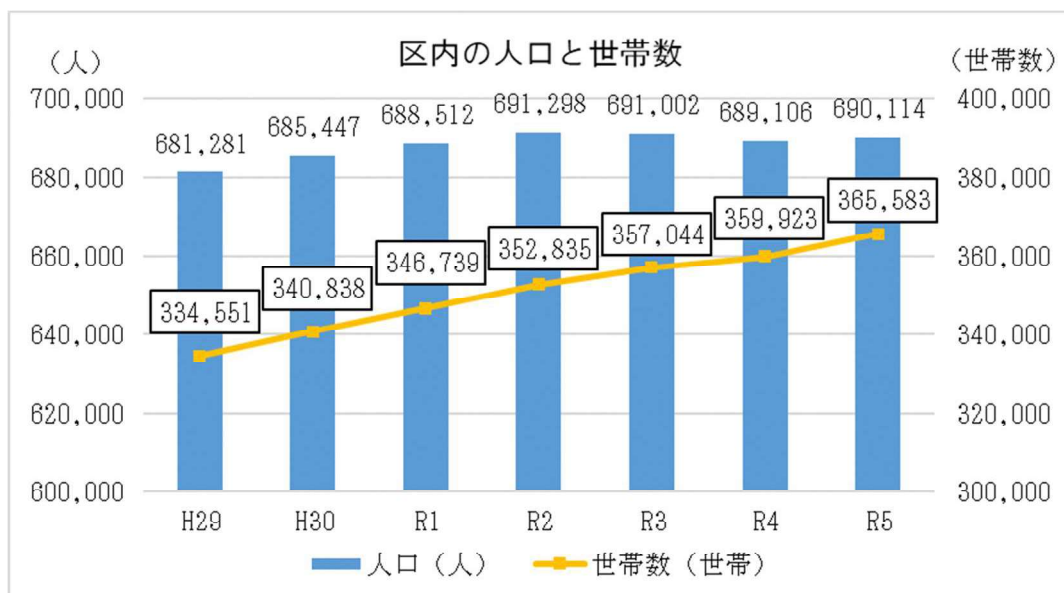
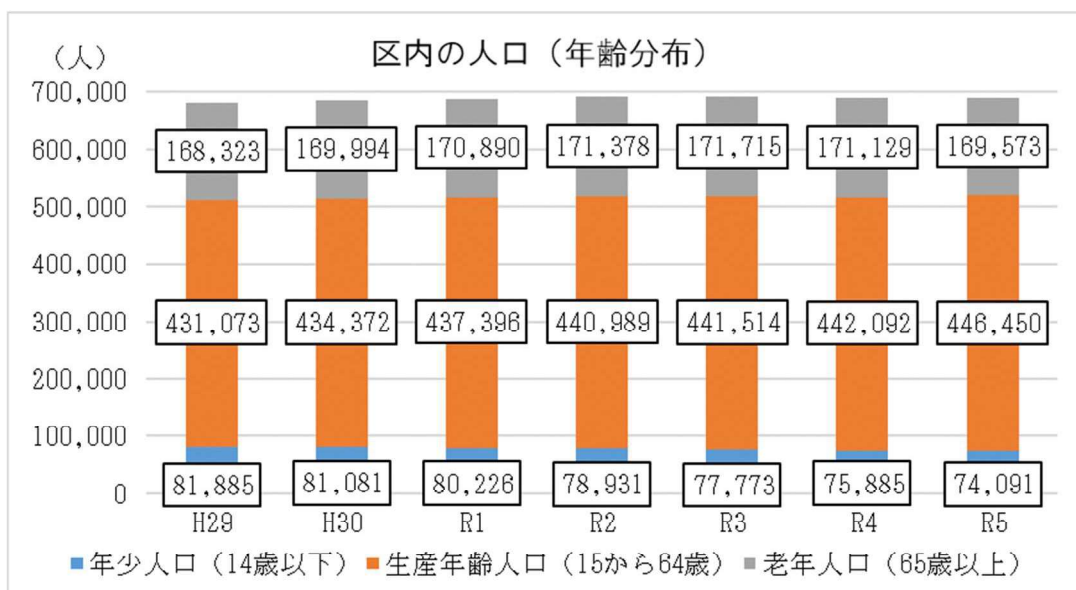


図 2.2 区内の人口と世帯数

※各年1月1日時点



(出典：足立区HP 年齢3区分別人口を基に作成)

図 2.3 区内の人口 (年齢分布)

※各年1月1日時点



3 交通ネットワーク

区内では、東西に環状七号線、南北に国道4号の主要幹線道路が通り、荒川沿いに首都高速道路が通っています。

鉄道は、東武スカイツリーライン・東武大師線、JR常磐線、京成本線、東京メトロ日比谷線・千代田線、つくばエクスプレスに加え、新交通システム「日暮里・舎人ライナー」を含む6社8路線が運行しています。

中でも、北千住駅は常磐線、東武スカイツリーライン、日比谷線、千代田線、つくばエクスプレスが乗り入れており、1日当たりの乗降客数は約120万人と国内でも交通の要衝の一つとして機能しています。

表2. 1 区内の各鉄道駅における一日当たりの乗降客数

鉄道事業者	駅名	乗降客数(人/日)
東日本旅客鉄道株式会社 (JR東日本)	北千住駅	337,132
東武鉄道株式会社	北千住駅	351,035
	堀切駅	3,513
	牛田駅	19,362
	小菅駅	5,489
	五反野	31,061
	梅島駅	30,312
	西新井駅	54,526
	竹ノ塚駅	59,069
	大師前駅	11,275
東京地下鉄株式会社 (東京メトロ)	北千住駅(日比谷線)	227,379
	北千住駅(千代田線)	198,711
	綾瀬駅	66,606
	北綾瀬駅	33,456
京成電鉄株式会社	京成関屋駅	10,435
	千住大橋駅	6,785
首都圏新都市鉄道株式会社 (つくばエクスプレス)	北千住駅	82,878
	青井駅	11,172
	六町駅	26,437
東京都交通局 (日暮里・舎人ライナー)	見沼代親水公園駅	11,348
	舎人駅	7,753
	舎人公園駅	4,044
	谷在家駅	9,246
	西新井大師西駅	10,337
	江北駅	10,368
	高野駅	5,457
	扇大橋駅	8,801
	足立小谷駅	3,273

※2021年度の値

※JR東日本は乗車人員を2倍して算出

※つくばエクスプレス：北千住駅は乗換を含んだ値

※東武鉄道：北千住駅及び牛田駅は乗換を含んだ値

※東京メトロ：北千住駅(日比谷線・千代田線)は乗換を含んだ値、綾瀬駅は直通旅客を除いた値

(出典：足立区HP 数字で見る足立を基に作成)



路線バスは8社が運行しており、北千住駅、西新井駅、竹ノ塚駅、綾瀬駅などを起点とした路線を中心に構成されています。コミュニティバス「はるかぜ」は、令和5年7月末現在で12路線を5社のバス事業者が運行しています。

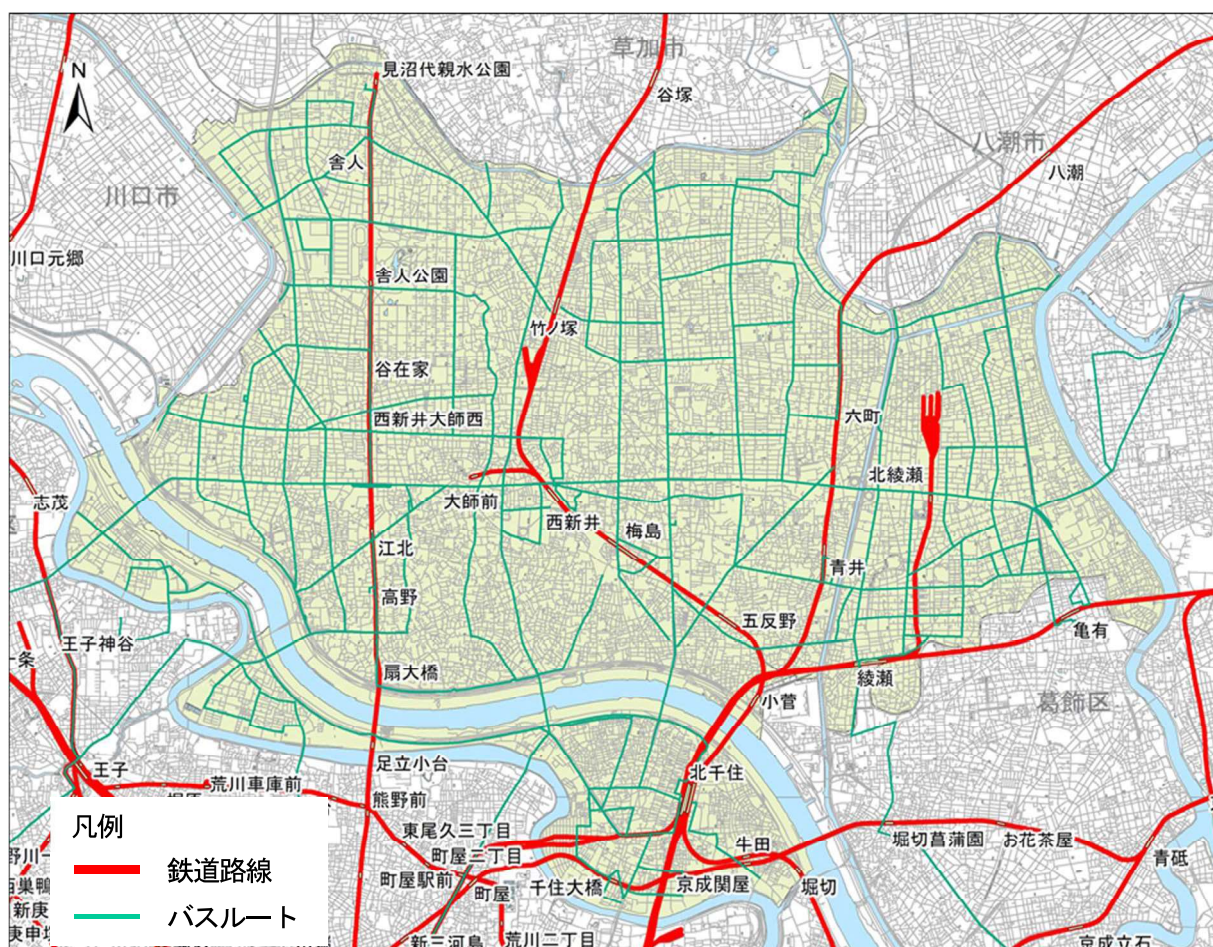


図 2.4 足立区の鉄道・バスネットワーク